

科目名	歴史Ⅰ History I			担当教員	石丸 健		
学年	1年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	一般	授業形式	講義	科目番号	17220003	単位区別	履修
学習目標	世界の歴史の大きな枠組みと流れを、我が国の歴史と関連づけながら理解させ、文化の多様性と現代世界の特質及び人類の課題を広い視野から多角的に考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての資質を養う。また、学習教育目標である「粘り強く取り組む姿勢」等の学習態度を、授業を通して培っていく。						
進め方	地球的視点から多面的に物事を考える能力：世界の歴史の展開を、広い視野に立って多面的・多角的に捉えさせ、地球世界の課題についても考察する能力を育成する。年間の授業を通して、学習教育目標「粘り強く取り組む姿勢」等の学習態度を培っていく。与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力を重視するとともに、作業的な学習を取り入れ学習効果を高めるよう工夫する。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 先史の世界(2) 2. 古代オリエント世界の成立と展開(6) 3. ギリシア世界の成立と展開(2) 4. ローマ世界の成立と展開(2) 5. イスラーム世界の成立と展開(2)			農業と牧畜の発生により世界各地に都市文明が生まれていった。また文字は文明を発展させ伝達する役割をはたしていく。 オリエント世界における文明の生成と発展、イスラーム世界、地中海世界の成立と展開について学ぶ。 A1:3			
	[前期中間試験] (1)						
	6. 答案返却・解答(1) 7. 中国の古典文明(2) 8. 秦漢帝国の成立(2) 9. 魏晉南北朝の動乱(2) 10. 隋唐帝国の成立と宋(3) 11. モンゴル帝国の中国支配と興亡(3) 12. 明清帝国の繁栄(2)			世界各地には独自の地域世界が形成されていった。人類の残した古代文明と地域世界の展開にはどのような特色がみられるのか、東アジア世界を中心に学ぶ。 モンゴル発展の背景と展開、明清の政治体制と冊封体制にもとづく国際秩序の形成について学ぶ。 A1:3			
	前期末試験						
	13. 答案返却・解答(1) 14. 大航海時代とヨーロッパ世界の拡大 (4) 15. ルネサンスと宗教改革(3) 16. 主権国家体制の形成と絶対王政(3) 17. 産業革命(1) 18. アメリカ世界の成立(2)			ヨーロッパ世界の政治と経済・社会の大きな変動を学ぶ。 「大航海時代」の背景、産業革命、絶対王政の成立と主権国家体制、世界の一体化の進展について学ぶ。 A1:3			
	[後期中間試験] (1)						
	19. 答案返却・解答(1) 20. フランス革命とナポレオン(3) 21. 近代国民国家の発展(1) 22. 帝国主義と列強の発展(2) 23. 二つの世界大戦(3) 24. 冷戦と第三世界の独立(2) 25. 現在の世界(2)			フランス革命が19世紀の欧米諸国に与えた影響、世界資本主義システムの形成、帝国主義の世界分割、第一次・第二次世界大戦にいたる政治の展開、全地球的規模で取り組まねばならない課題について学ぶ。 A1:3			
	後期末試験						
	26. 答案返却・解答(1)						
評価方法	定期試験 80%、作業ノート・課題レポートの提出等 20%の比率で総合評価する						
履修要件	特になし						
関連科目	歴史Ⅰ（1学年） → 歴史Ⅱ（2学年）						
教材	教科書：木村靖二 他著「高校世界史B」山川出版						
備考	特になし						